

Horizont OUTDOOR 及びカールスルーエ市内自転車店調査報告

平成24年2月29日

1. Horizont OUTDOOR(カールスルーエ自転車展)

ドイツ南西部のカールスルーエにて、消費者向けの自転車を含むアウトドア用品展「Horizont OUTDOOR」が開催された。

【Horizont OUTDOOR】

主催： Karlsruhe Messe-und Kongress-GmbH

会場： カールスルーエ国際見本市会場

会期： 2012年2月3日(金)～5日(日) 10:00～18:00

使用ホール： ホール1及び2、計25,000㎡

入場者数： 22,630人(昨年21,700人)

出展者数： 265社(自転車関連出展者35社 ※出展者リストより集計)



カールスルーエ国際見本市会場



ホール2の様子

開催地の国際見本市会場はカールスルーエ中央駅から路面電車、近郊電車を乗り継いで30分程の郊外にある。会期中は同中央駅と展示会場間を往復するバスが無料で運行され、来場者の便宜を図っていた。そのバスは込み合うこともなく15分程で到着したが、来場者の多くは自家用車で会場に駆けつけていた。訪問当日は日曜日であったため、会場には家族連れを中心に老若男女様々な人々で大変賑わい、来場者は前年比4.3%増となった。

同展は2009年までは中央駅近くの別会場(Karlsruher Kongresszentrum)で自転車単独の展示会「fahrrad.markt.zukunft.」として開催されていたが、2010年より現会場に移り、自転車、釣り、旅行・レジャー、健康・フィットネス等の分野からなるアウトドア用品展 Horizont OUTDOOR へと変貌を遂げた。

自転車関連の出展者はホール2に集中し、今回の主役は完全に電動アシスト自転車(EPAC)であった。地域の有力小売店のブースを中心に20を超えるEPACブランドが見られ、主なEPACブランドでは、カルクホフ、ラレー、ジャイアント、フライヤー、コガ、ペガサス及びケト

ラー、またスポーツ車タイプの EPAC を中心したシンプロン、スコット、メリダ、KTM、ブルス及びキャノンデール等、更には Kreidler、VSF Fahrradmanufaktur (VSF)、R&M、Vital Bike 及び vtapia velo 等など多岐にわたり、この地方展の開催規模からみても、EPAC の充実ぶりは目を見張るものがあった。



EPAC 試乗車



小売店ブース



電動アシスト自転車 (左 ; シンプロン 右 ; VSF)

エクストラエナジーが手掛ける EPAC 試乗コーナーは自転車関連の展示面積と同じくらいのスペースが確保され、試乗車として 50 台程の EPAC が勢ぞろいし、試乗を希望する人が絶えなかった。2009 年に同地の自転車展を訪問した時は、EPAC はブームの兆しを見せていた段階であった。人々は EPAC とはどのようなものか興味を持ち始め、会場内の EPAC 入門セミナーに参加して、熱心に聞き入り質問を投げかける来場者の姿も見られた。しかし、今回の自転車関連セミナーには EPAC プログラムは見当たらなかった。もはや EPAC について説明する必要がないほど、人々に EPAC が認知されたとも考えられ、わずか 3 年の間でドイツ自転車市場で急速に EPAC ブームが広がったことを改めて実感した。

来年は同会場にて 2013 年 2 月 15～17 日の間に開催予定である。

2. カールスルーエ市内自転車小売店調査【調査実施日：平成 24 年 2 月 4 日(土)、6 日(月)】

調査店舗①

最初にカールスルーエ中央駅から路面電車で 2 つ目の停留所近くの店舗を訪問した。同店は上記展示会の出展者でもあった。同店はスポーツ車を主体としており、主要ブランドのスペシャライズドとフォーカスのロードバイク 20 台程が入口付近に並び、価格帯は 1,800 ユーロ (189,000 円) 前後であった。トレッキング車はカルクホフを中心に価格帯は 700 ユーロ (73,500 円) 前後が主体である。なお、同店はジャイアントショップでもあり、今回はスポーツ車の他、電動アシスト自転車 (EPAC) も積極的に出展していた。

調査店舗②

次に店舗①よりトラムで 5 分程移動した住宅街の中規模店を訪ねた。トレッキング車では、中、高価格帯の 1,000~2,000 ユーロ (105,000~210,000 円) ではシンプロンを中心に 30 台余り。700 ユーロ (73,500 円) 以下の中、低価格帯はビィノーラとヘラクレスを主体に約 70 台であった。EPAC はラレー、ビィノーラ及びヘラクレス等、計 7 台。特に小径車タイプの EPAC が充実していた。その他、ブロンプトンの折り畳み車、子供車、幼児車も数多くみられ、多くの車種を取り扱う店舗であった。



調査店舗①



調査店舗②

調査店舗③

更に上記店舗②より徒歩で数分の地元商店街にある店舗を訪問した。同店は展示会に VSF Fahrradmanufaktur (VSF) の自転車を出展していた。建物の奥にある売り場に通じる通路に 20 台程の自転車が並ぶ。VSF やカゼレのシティ車を中心に価格は 700 ユーロ (73,500 円) 前後であった。店内にはステッペンウルフを中心に R&M、VSF のトレッキング車やスポーツ車等が 50 台程、更にシングルギヤ車や数種の幼児用トレーラーもあった。

調査店舗④

中央駅に戻り別の路面電車で 10 分程の場所に位置する中規模店舗を訪問した。同店は ZEG 加盟店であり、取扱ブランドはスポーツ車では ZEG ブランドのブルスが多く、シティ車、トレッキング車は同ブランドのペガサスが主体であるが、更に価格が高めのものとして KTM のトレッキング車も数台みられた。EPAC はカルクホフと RIXE が数台みられた。



調査店舗③（通路）



調査店舗④

調査店舗⑤

続いて店舗④より路面電車で数分離れた MTB 中心の店舗を訪問した。MTB ブランドは FELT の他、チェッカーピッグや Quantec 等であった。価格帯はおおまかに 500 ユーロ (52,500 円) 前後と 700~900 ユーロ (73,500~94,500 円) 程度に 2 分される。他にビーチクルーザー等の扱い、小型店ながら取扱商品にこだわりを見せていた。

調査店舗⑥

最後に中央駅から徒歩 10 分程に位置する店舗を訪ねた。同店はカールスルーエに 2 店のほか合計 4 店舗を展開している。今回の訪問店はスポーツ車に特化しており、店内には高級な MTB やロードバイクが 50 台程並んでいた。概ね 1,000 ユーロ (105,000 円) を超える価格のものが多く、更には 3,000 ユーロ (315,000 円) 前後の商品も見られる。取扱いブランドはゴースト、キューブ、ラピエール、ベルガモント及びスティーンズ等、欧州スポーツ車ブランドが揃い、独市場にもかなり浸透しているはずの米国ブランド車は全く見られず、その点に強いこだわりを感じ、ドイツ南部の特徴である高額スポーツ車の根強い人気ぶりを垣間見ることができた。



調査店舗⑤



調査店舗⑥

以上
(国際業務部)